

# 日曜日・祝日における自主運行バス（さつきバス・電話で予約バス）の運行方針

## 調査概要

### 【調査の目的】

可見市では、自主運行バスとして平成12年から定時定路線型の「さつきバス」、平成22年からはデマンド型の「電話で予約バス」の運行を開始し、現在に至っていますが、15年が経過し市民のライフスタイルや世帯構成の変化等により、バス運行に対する市民の意向も変わりつつあります。

また、平成25年に策定した可見市生活交通ネットワーク計画では、「誰もが安心して移動できる公共交通ネットワークの構築」を目標とし、「人の暮らしを支え、楽しみを創出する」こと、「まちの活性化を支援・誘導する」ことを公共交通の役割として明確にしました。

こうした背景を受け、本調査は、各種アンケートにより日曜日・祝日における自主運行バス（さつきバス、電話で予約バス）の運行に対する市民の意向を把握し、その結果を踏まえたバス運行方針及び運行パターン（案）を定めることを目的として実施しました。

### 【アンケート調査の概要】

本調査では、日曜日・祝日における市民のバス運行に対する意向を把握するため、以下のアンケート調査を実施しました。

#### ①市民アンケート調査

- 【調査対象】住民基本台帳に登録されている満16歳以上の市民6,600人を無作為抽出
- 【調査方法】郵送による配布・回収
- 【調査期間】平成27年12月14日(月)～12月21日(月)
- 【回収数】2,493人 【回収率】37.8%

#### ②バス利用者アンケート調査

- 【調査対象】さつきバス、電話で予約バス利用者
- 【調査方法】市職員・運転士による直接配布・郵送回収
- 【調査期間】～平成28年1月4日(月)
- 【配布・回収数】

	配布数	回収数	回収率
さつきバス	144人	91人	62.3%
電話で予約バス	100人	48人	48.0%

市の目指すまちの姿

住みこころ一番・可見

若い世代が住み続けたいと感じる魅力あるまちの創出

## 上位計画にみる公共交通の役割

### 【公共交通が担う役割】

**役割①** 市民の移動手段を確保し、暮らしを支える

**役割②** 市民の楽しみを創出し、まちを活性化させる

可見市第4次総合計画  
(後期基本計画)  
【平成28年度～31年度】

**重点方針①** 高齢者の安気づくり  
○高齢者の暮らしの安心をつくる  
・公共交通による高齢者の移動手段の確保 **役割①**

**重点方針②** 子育て世代の安心づくり

**重点方針③** 地域・経済の元気づくり

**重点方針④** まちの安全づくり  
○良好な住環境を整える  
・公共交通の維持充実（鉄道・路線バス・コミュニティバス） **役割①**

可見市まち・ひと・しごと  
創生総合戦略  
【平成28年度～31年度】

**基本目標①** 人と経済が元気なまち

**基本目標②** 魅力とつながりのあるまち  
・花フェスタ記念公園の活用  
・アールエリアの充実 等 **役割②**

**基本目標③** 子育ての希望がかなうまち

**基本目標④** 健康と安心が実感できるまち  
○公共交通により、より良い移動手段の確保 **役割②**

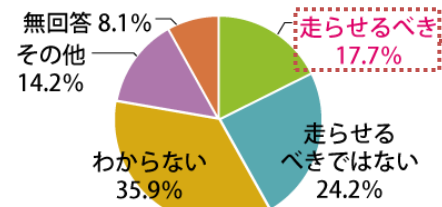
## 日曜日・祝日におけるバス運行に対する市民意向

●バスを「走らせるべき」と「走らせるべきではない」の割合に大差はありませんでした。

●バスを走らせるべきと回答した市民が行きたい施設は、平日とは異なり「文化創造センター」や「花フェスタ記念公園」が最も多くなっていました。

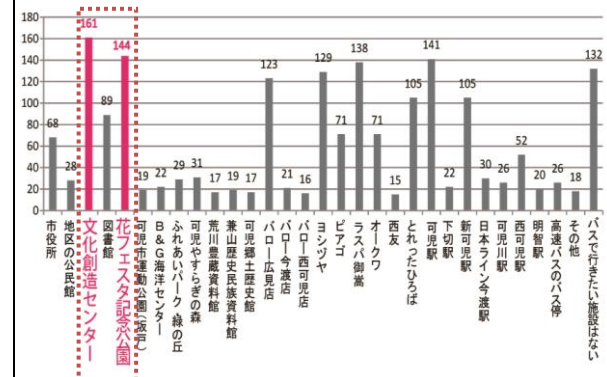
### 調査名 日曜日・祝日におけるバス運行に関する意向等

#### 【日曜日・祝日のバス運行】



#### 【日曜日・祝日にバスで行きたい施設】

●「バスを走らせるべき」と回答した人がバスで行きたい施設は、平日に利用の多い商業施設以外の「文化創造センター（アール）」「花フェスタ記念公園」が多い。



#### 【施設の利用状況】

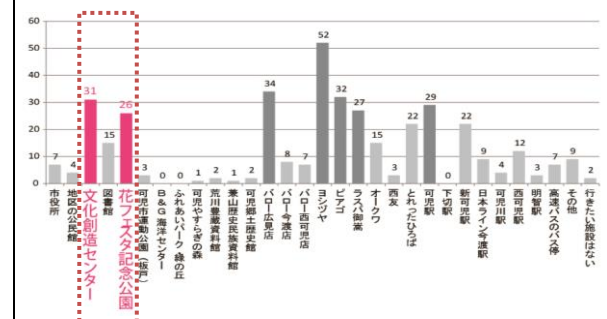
●「文化創造センター」や「花フェスタ記念公園」については利用頻度が低く、年に数回の利用者が多い。

#### 【日曜日・祝日の移動で困っていること】

●「平日と同じ目的地に行きたいが、移動手段がない」と回答した利用者が多い。

#### 【日曜日・祝日にバスが運行したら行きたい施設】

●平日のバス利用の目的地と同様に商業施設が上位を占めるが、次いで「文化創造センター（アール）」「花フェスタ記念公園」の回答が多い。



（さつきバス・電話で予約バス利用者アンケート調査結果を整理）

## 自主運行バス運行方針

●市民が日曜日・祝日に行きたい施設は「市民の楽しみ」の創出につながる文化創造センター（アール）や花フェスタ記念公園に対する意向が特に多く、公共交通の役割にも適合していることから、日曜日・祝日に自主運行バスを運行する意義があると考え、日曜日・祝日における運行方針を以下のように設定します。

### 方針① 日曜日・祝日において市民の楽しみを創出する移動手段としてバスを運行します。

平日とは異なる日曜日・祝日に行きたい施設として市民の意向が多く、土日・祝日に催し物が多い「文化創造センター」や「花フェスタ記念公園」をはじめとした観光・文化施設への移動手段としてバスを運行します。

### 方針② ニーズのある施設の利用頻度に応じた運行とします。

「文化創造センター」や「花フェスタ記念公園」については、商業施設に比べて利用頻度が低いことから、これらの施設の利用実態にあわせてバスを運行します。

### 方針③ 日曜日・祝日における市民の移動実態にあった運行とします。

日曜日・祝日は病院や福祉施設等が閉館しており、平日と日曜日・祝日では市民の移動パターンが異なります。そのため、各種アンケート調査結果を踏まえ、日曜日・祝日の移動実態を考慮してバスを運行します。

### 日曜日・祝日における自主運行バス運行パターン（案）

- 【パターン①】 現行の運行に加え、観光・文化施設を結ぶ路線を新設する
- 【パターン②】 現行の運行をベースとし、日曜日・祝日の移動にあわせて運行を見直す
- 【パターン③】 日曜日・祝日のみ市全域をデマンド運行とする